

# 富士市中小企業景況調査結果

令和2年度 第2四半期【令和2年7月～9月】

富士商工会議所調べ

## ◇ 調査実施要領 ◇

富士市内中小企業の景気動向と経営状況について調査を実施した。  
製造・建設・卸売・小売・サービス業の5産業、200事業所(回収率72.9%)を対象に、「令和2年7月～9月」の3ヶ月間の生産・売上および経営状況の調査を行い、その結果を産業別にまとめた。

### DI(景気動向指数)とは

『上昇・増加・好転』したとする企業割合から、  
『下降・減少・悪化』したとする企業割合を差し引いた値。

前期…令和2年4月～6月 今期…令和2年7月～9月 来期…令和2年10月～12月

表中の矢印=5ポイント以上の推移を上下矢印で表し、5ポイント未満は横ばい矢印で表示した

## ◇ 今期調査の概況 ◇

主要DI	前回調査		今期調査 (前年同期)		来期予測
業況	▲66.2	↗	▲60.6 (▲28.7)	↗	▲26.0
売上	▲60.2	→	▲57.8 (▲19.1)	↗	▲18.6
採算	▲61.4	↗	▲50.4 (▲30.3)	↗	▲24.5

今期調査では、全産業合計の業況・採算DIともに上昇、売上は弱含みの横ばいとなった。来期の予測については、全産業合計の業況・売上・採算DIは全て上昇の見込みとなった。

主要DIを産業別にみると、今期はサービス業及び小売業で下降が見られたが、他の産業では上昇及び横ばいとなった。引続き厳しい状況下ではあるが、製造業・卸売業・小売業・サービス業の来期は全て上昇予測となり、再開した経済活動の持ち直しが若干見られ、緩やかな回復傾向にある。公共工事に下支えされた建設業は、今期は全て上昇の結果であったが、民間設備投資の低迷や深刻化する人材不足の要因から、来期の業況・採算が下降と予測している。新しい生活様式への対応による新規需要への模索や企業業績の悪化に伴う雇用・所得環境の変化などを懸念する声などがそれぞれ寄せられた。また、新型コロナウイルスの影響の長期化に対する警戒感が強まっており、先行きに対して慎重な見方が続く。

経営上の問題点では、製造業・卸売業・小売業・サービス業が「売上減に伴う利益減」建設業では「人材不足」が1位となった。

◇ 全産業の動き ◇

**〔業況のDI〕** 建設業、卸売業は上昇。製造業、小売業が横ばい。サービス業は下降。  
 来期予測は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が上昇を予想。建設業は、下降を予測。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲67.6	→	▲68.5 (▲29.7)	↗	▲14.3
建設業	▲41.4	↗	▲20.0 (▲10.7)	↘	▲26.6
卸売業	▲82.6	↗	▲64.0 (▲42.9)	↗	▲33.3
小売業	▲77.8	→	▲80.0 (▲50.0)	↗	▲17.4
サービス業	▲65.4	↘	▲71.9 (▲20.0)	↗	▲40.0
全産業	▲66.2	↗	▲60.6 (▲28.7)	↗	▲26.0

**〔売上高のDI〕** 建設業、卸売業は上昇。製造業、サービス業が横ばい。小売業は下降。  
 来期予測は、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業と全て上昇を予想。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲64.7	→	▲62.8 (▲16.2)	↗	▲8.6
建設業	▲48.3	↗	▲30.0 (▲28.6)	↗	▲23.4
卸売業	▲66.6	↗	▲60.0 (▲23.8)	↗	▲20.9
小売業	▲64.0	↘	▲76.0 (▲10.0)	↗	▲25.0
サービス業	▲57.7	→	▲62.5 (▲16.7)	↗	▲18.7
全産業	▲60.2	→	▲57.8 (▲19.1)	↗	▲18.6

**〔採算のDI〕** 建設業、卸売業、サービス業は上昇。製造業、小売業が横ばい。  
 来期予測は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が上昇を予想。建設業は、下降を予測。

業種	前期		今期(前年同期)		来期予測
製造業	▲58.8	→	▲57.1 (▲32.4)	↗	▲14.3
建設業	▲41.4	↗	▲24.1 (▲22.2)	↘	▲36.7
卸売業	▲79.2	↗	▲48.0 (▲47.6)	↗	▲25.0
小売業	▲66.7	→	▲64.0 (▲45.0)	↗	▲17.4
サービス業	▲65.4	↗	▲58.1 (▲13.4)	↗	▲29.1
全産業	▲61.4	↗	▲50.4 (▲30.3)	↗	▲24.5

## ◇ 産業別の動き ◇

※コメントは回答に基づき要約しています。

### 【製 造 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『製紙』…「新型コロナ禍で需要が変化し、売れる商品と売れない商品がはっきりしてきている。そのため、売れない製品を思い切って生産中止にする覚悟が必要となり、生き残りを図らなければならない。」「大手企業による設備投資で供給過多が懸念される。今後、内需及び輸出の両面での停滞が業績に反映する。」「全体に物の動きが鈍く包装関連は低調、産業用も減産傾向のため在庫調整。徐々に回復に向かうと思われるが、スピードは遅いと推察。」とのコメント。

『紙加工』…「製紙業界の生産低下に伴い受注減少。新型コロナの影響が継続しており、需要が低迷していることから受注減となっている。自粛緩和の動きから一部改善の見込みもあるが、コロナ終息が見通せない状況下では元の水準に戻ることは考えられず、売上減少傾向は当分続くと思われる。」「PPC用紙(コピー用紙)については、テレワーク等でオフィス向けなどの需要が減少。トイレットペーパー等の業務用商品の動きが低調。経済が徐々に動いていけば、現在より消費は進んでいくと推測する。」「新型コロナの影響で生産・販売が低迷。今後の見通しもつかない。」との回答。

『機械器具・金属加工』…「輸出不振のため売上悪化。」「生産性の向上を図るためには、人材不足の改善が最優先である。」「機械部品に関しては、8月の盆を境に減少傾向で今後も低迷が続きそうである。」との意見。

『自動車部品』…「全世界でのコロナ危機を回避できなければ、今後も厳しい状況である。上期はコロナ禍で需要減を受け低調であったが、下期は需要が多少改善すると推察する。」「新型コロナ感染拡大により、トラックの販売台数の大幅減や在庫調整などで生産台数は減少。今年の1月～3月は前年より売上増、4月～6月は前年同期比5%減。8月の売上は15%減と大きな変動はなく、仕事量はある。撤退する企業と新しく進出する企業と経営状況の二極化が始まっている。」「9月に入り上向き傾向にあるが、部品によっては受注に波がある。」「自動車業界の低迷により受注量減少で回復の兆しが見えない。」「金型業界全体の仕事量は減少しているが、取引先のメーカーからは需要があるため安定している。しかし、他業者は、かなりの低コストを打ち出しているため、当社でもコストダウンを視野に入れている。」とのコメント。

『繊維加工』…「売上減少により各企業、雇用調整を行っている。先行きの見込みが立たず大変不安である。」との回答。

『印刷資材等』…「インキ業界・ゴムロール・産業機器販売ともに弱含み。今後、完全なるワクチン完成と供給の確立が保障されれば見通しが立つが、11月3日の米国大統領選の結果により日本の政治経済への影響を注視したい。」との意見。

『印刷』…「飲食・観光・イベントがダメージを受けているため、印刷受注が大幅に減少している。新型コロナに伴う制限緩和措置が打ち出されているが、団体や大人数での行動は限られているため、印刷物の受注量の動きが読めず売上の低下が懸念される。」との声。

『食品』…「売上の的には、スーパーマーケット・ドラッグストアは好調。コンビニエンスストアは不調。土産品販売関連は壊滅状態にあり、Eコマースが好調と聞いている。今後も5年～10年はコロナの影響が続くと思われる。ITを活用した新しい販売に活路を見出さなければならぬ。」「業務用需要の低迷が続く、厳しい状況は変わらない。今後の動向は不透明感が強いが、コロナ社会への対応次第により変化すると思われる。」「前期の調査時より販売数はわずかに回復傾向にある。」「新型コロナの影響はなく、内食(家

庭内調理)が高まり、需要拡大。今後、肉食から中食に移行し食生活の変化を注視する。」とのコメント。

『飲料』…「東京オリンピック・パラリンピックの延期により、ペットボトル茶飲料の原料需要が減少した。来年も注視したい。」との回答。

『その他』…「和紅茶・ほうじ茶等の新商品開発にチャレンジする個人、団体が増えている。新たな販路拡大が可能となり、茶業の活性化となる商品を作ることを望む。」「地元商店街及び企業の資金繰りは、年末から年初にかけ、今以上に悪化する模様。消費の低迷が起因している。」との声。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	2.9	25.7	71.4	▲68.5	上 昇
売上高	8.6	20.0	71.4	▲62.8	上 昇
採 算	2.9	37.1	60.0	▲57.1	上 昇

## 【建 設 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『総合建設』…「コロナ禍の影響により県外の業者使用を躊躇する状況である。また、諸外国からの資材の納期遅延があったため、工期内の完成が非常に厳しくなった。国内の業績悪化に伴い新規顧客の獲得が困難なため、自社の業績回復も難渋している。」「民間受注工事の停滞が更に減少傾向に流れていくと予想。公共工事は当面、行政側の発注数は増加傾向。民間工事は企業の警戒心と投資マインドの低下で減少傾向となる模様。そのため増々、受注価格の低下となり経営を圧迫する。建設業の人員・人材不足は改善されず、働き方改革の具体化は一向に前進していない。」「新型コロナの影響により民間企業の設備投資が低迷し、計画を中止した案件が数件ある。民間工事の減少により価格競争が漸増傾向である。新型コロナ感染症対策としての国家債務による公共工事予算等の減少を危惧する。加えて受注の減少と過当競争による利益減が予測される。」「適正価格の受注が困難で、後は公共事業次第である。」との意見。

『一般住宅』…「新型コロナの影響がどこまで続くか読めず、一般住宅建築も低調。」「長期ローンを組んでの建物設備投資は見通せない。」とのコメント。

『建設関連』…「公共工事が少ない。来年以降も民間工事はあるが不安な状況。今後の民間工事にも期待はできない。」「来年度の仕事は決まっており、来年の秋くらい迄は需要がありそう。」「地場産業の停滞により、遠方需要に偏りつつある。」「売上高は減収したが、多少販売価格が上昇したため持ち直している。生産については、在庫を増やさないよう生産調整を行っている。これから更に需要が落ち込む状況にあり、生き延びるため対策を練っている。老朽化した設備を更新し、合理化を進め製造原価の低減を図りたいが、高額な設備資金が必要となり頭が痛い。」「大型解体需要が減り今後も減少すると予想。一事業に固執することなく、事業活動も多様化することを計画中。」「建設機械リースに於いて建設工事の発注が減少のため、機械設備投資の削減にて過当競争となる。」との声。

『設備工事』…「新型コロナの影響で収益性が悪化しており、設備投資を控えざるを得ない。」「人材不足による競争力の低下で受注が厳しい。」との回答。

『造園工事』…「今年の夏は民間の剪定で多忙であった。新型コロナの影響により予算が取りにくくなっており見積もりを出しても減額されやすい。公共工事の発注は殆どない。」「民間企業・市外郭団体では新型コロナの影響で、緑地維持管理・緑地工事の受注は大幅

な減少である。公共工事は減少が見られないが、次年度以降の仕事量が懸念される。」「人材・人員不足で、仕事が入っても作業が出来ない。」との意見。

『屋外広告・イベント』…「新しい生活様式に沿ったイベントの開催について模索中。新型コロナと共存していかなければならない社会である。」とのコメント。

『その他』…「富士市は交通アクセス等企業立地に適している魅力ある地域だと思う。経済活性化のためにも遊休地を開発し、企業誘致を行政機関が積極的にサポートし、進めて頂きたい。」との要望。「当市の人口減少が著しいが、市外からの若い世代の移住が増えているようだ。人口確保のため、移住・定住してくれることは喜ばしいことだ。」との意見。「ゲリラ豪雨で大淵の一部地域で想定外の床下浸水があり、河川のない地区なので雨による被害は想定していなかった。」また、「国道139号富士改良区間〔県道396号線(青島)→国道1号線(鮫島)] 開通の見通しが立たない。」「市内北部地区の急傾斜地の工事が実施されることとなり、現在準備が行われている。市道比奈間門線の拡幅工事も再開されることとなり、工事発注が予定された。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	0.0	80.0	20.0	▲20.0	下 降
売上高	10.0	50.9	40.0	▲30.0	上 昇
採 算	6.5	62.1	31.0	▲24.1	下 降

## 【卸 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『機械器具』…「取引先の製造業が減産では、モノは売れず負のスパイラル状態である。新型コロナ感染症が収束し、ワクチンや治療法が確立すれば景気はV字回復すると期待する。」「売上が緩やかに回復傾向にある。新型コロナが収束すれば、急激に好転すると思われる。」「製紙業界は新型コロナによる影響を他業種ほど受けていないが、もともと不調であり、先行き不透明である。」との回答。

『自動車部品』…「今期は、前年同期を5%程上回った。特に8月の夏期休暇後は、全般的に多忙であった。要因として車検・定期点検などの法律に定められた需要があり、新型コロナの影響を受けなかったことや新車需要の低迷で中古車需要が増え、その分自動車部品の交換需要を押し上げたと思われる。今後は次世代車(HV/PHV/EV)の進出など自動車業界の将来の動向の読みが難しい。」との声。

『建築材料』…「新型コロナ感染拡大で首都圏を中心に自粛要請以降、新規住宅の打合せが停滞し、影響は来年まで継続されると予想。国内の新築住宅着工戸数は、2020年度が73万戸、2021年度が74万戸とリーマンショック時の78万戸を下回る水準と予測されている。今後、国による住宅取得支援策・補助金等に期待する。」「現在大きなダメージはないが、来年度は公共工事の予算削減など悪い影響がでてくるのではないかと危惧する声を耳にする。」との意見。

『紙』…「家庭紙・衛生紙に比べ印刷紙の落込みは著しい。板紙も洋紙ほどではないが、動きが鈍化している。特に洋紙はリモートワーク定着により、紙の使用頻度が減っている模様。今後も脱紙媒体の動きは進み需要も縮小、利益重視の価格設定にシフトしていかないと紙業界の発展はあり得ない。自社製品を市場に対して積極的・戦略的にマーケティング活動を行っていくことが不可欠になっている。」「6月度が売上高減少の底に対して、9月以降どこまで回復するかは見通しがつかず、横ばいから若干増加すると予想。」「感染

症の影響によりホテルやイベント施設の売上が大幅に落ち込んだ。イベント関係の回復は遠いが、様々な業態で変革する動きがあり、販促物の需要は増えると思込む。」との回答。

『製紙原料』…「製紙業界は減産傾向が顕著である。特にオリンピック需要を見込んだ業界は、瀕死の状態。規模を拡大した業界や寡占化に進んだ業界は、価格維持に走るため他の産業に活路を見出し、増々厳しくなると予見。」「古紙の発生が鈍く、価格相場も回収経費が出ないくらい下落が続く。社会保険料の負担の増加も厳しい。」「紙業界の現状は思わしくない上、輸出も落込みが激しく、不安な状態。産業古紙の減少は継続、中国等の輸出も不変。業務用トイレットペーパーの生産が低下し、今後も予測不能。」とのコメント。

『再生資源』…「鉄スクラップは、コロナ禍で解体工事の延期、発生工場の休業と製品不況で価格低迷が続いたが、海外のスクラップ需要が増大したため価格が上昇。非鉄金属スクラップは、需要国の中国がインフラ設備拡大のため、価格上昇。今後は米国大統領選の結果と中国政策により先は不明。」「コロナ禍に於いて、パンデミックから金・銀価格は近年まれにみる高値に急伸。仕入、販売ともに慎重に動向を見極めていく必要がある。」との見解。

『工業薬品』…「新型コロナの影響が大きく、需要が減少している。景気回復に時間を要するため、管理費等の支出の見直しが必要と思われる。比較的コロナの影響が少ない家庭紙ユーザーの稼働率に期待する。」「新型コロナ関連で需要の増えたタオルペーパー類は好調。」と回答。

『食品』…「人口減少と代替品へのシフトにより、需要が大幅に減少。今後も需要の減少は継続する模様。」「新型コロナ感染拡大により、外食産業は低迷。」とのコメント。

『その他』…「コロナというワードがインフルエンザから受ける脅威と同レベルに落ち着くまでは、厳しい経営環境が続くと思われる。」「ウィズコロナ及びアフターコロナの時代を見据え、経済・生活に手厚い支援・保護等や税の低減等を要望する。」「近年、伝法地区では新設住宅戸数が増え環境の変化が窺える。」との意見。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業況	0.0	36.0	64.0	▲64.0	上昇
売上高	12.0	16.0	72.0	▲60.0	上昇
採算	8.0	36.0	56.0	▲48.0	上昇

## 【小 売 業】 景気ムード…【厳しい状況】

『各種食料品』…「コロナ禍における菓子業界では、最も影響が大きかったのは観光関連だ。和洋菓子専門店では冠婚葬祭等のギフト主体の店が大幅にマイナス。地域密着型店舗の強みとしてギフト発送を積極的に発信し、訴求している事業所は順調に伸びている。」「業態による良否が見受けられる。自社内で製造・販売しているものは強いが、売り場を他所に頼る業態は思わしくない。顧客満足を得られる製品やサービスの提供が重要になると思われる。」「静岡県の製菓及び製パン業界内は、他県と比較すると落ち込みは少なく、とりわけ富士市はコロナの打撃が少ないようだ。」「秋から冬に掛けて若干の回復予想だが、コロナ以前のように需要は伸びずタイトに推移すると思われる。Webでの販路開拓を拡大していく。」「買い控えや生活様式の変化による需要の減少が出ている。特に大型商業施設の来客数が減っている。衛生用品(手袋・アルコール等)の経費増加が経営を圧迫し

ている。以前は人手不足に悩まされていたが、現在採用募集をすると多くの応募がある。産業の低迷による人員削減が要因か。今後の見通しはコロナの動向次第。」と回答。

『**食料・飲料**』…「コロナ禍による需要激減に加え天候不順の影響もあり、新茶販売の低下。当園では荒茶での売却はしておらず、製茶小売のみのため良質茶の生産に取り組んでおり、資材の投入は変わらず販売面に注力する。」「荒茶単価の低迷で採算が取れず、茶樹の抜根や生産停止の茶園が見られるようになった。富士市農政課主導によるほうじ茶のブランド化の取組に興味がある。原料に棒茶を主体としたところに意味があるようだ。」とのコメント。

『**衣料品・呉服**』…「着物の生産現場、流通問屋・小売で危機的状況である。物づくりの人手が不在となり、生活習慣も変化し、実需がなくなり今後の見通しが立たない。」「新型コロナ感染及び猛暑のため、来客なしの日々が続いた。」との意見。

『**生花**』…「冠婚葬祭・イベント・式典等の相次ぐ中止で需要が激減。生花生産者の出荷調整により仕入が困難になる物もあった。」「気象の高温化が続き、ハウス栽培が多い花木では、高温障害による育成の問題が需給のバランスを崩し、価格に影響が出ている。更に新型コロナの影響もあり、生花の需要低迷が著しい。」との回答。

『**日用品・雑貨**』…「イベントの中止・縮小により需要が大幅に低下し、苦慮している。宝飾・メガネメーカーの廃業も相次いでいる。最近の消費者はモノに執着しなく、良いモノを長く持とうという考えがなくなりつつある。そのため、商品の品揃えの工夫をしなくてはならない。」「家庭用品販売に於いて、全国的にホームセンター等大型店の売上は好調。個人店については横ばい。」一方「玩具業界は、コロナの影響を受けていない数少ない業界と思われる。海水浴場が開かれなかった事により浮き輪等の需要は低調だったが、家庭用プールは好調。また、バラ売り花火もかつて無いほど好調であった。今後も家庭内で遊べる商品の需要が増えると思われ、強化を図りたい。」とのこと。

「文具用品販売においては、新型コロナの影響がじわじわと浸透し始め、外出自粛傾向が定着し売上減少となっている。今期より売上増を期待しているが、前年比は20~30%減少すると予測。」また、「化粧品業界では国内外の需要低迷により、供給過多への懸念に加え、売上高も未だ前年度の水準には戻らずマイナス。しかし、巣ごもり消費の拡大でスキンケア関連は一部、売上を伸ばしているものもある。今後は、コロナの収束状況次第で国内の移動制限緩和による消費回復を見込み、化粧品需要が回復すると思われる。」との声。

『**家電**』…「合同展示会が新型コロナの影響で中止となり、代わりに店舗ごとに実施されることとなった。個店ではイベントも出来ず、商品の陳列にも限界があり集客力が問われる。」「巣ごもり・テレワーク・感染予防等により自宅で過ごす時間が多くなり、家電製品が見直され需要が伸びているが、大型店との価格競争が激化している。」との意見。

『**自動車・自動車部品**』…「コロナ影響が徐々に解消しつつある。国内生産は海外よりも緩やかな回復となり、国内8社メーカーにバラツキも出ている。新型コロナ第二波の動きが危惧される中、自動車工業が勢いを維持できるかに関わっていると感じる。自動車整備の1台当たり単価は多少上がっているが、全体数が減っているため、売上アップには至らない。」「引続きコロナの影響により自動車関連の生産・販売・需要全てに渡り低調である。」とのコメント。

『**その他**』…「コロナ収束のカギは、来年の東京五輪とワクチン開発にあると考える。この二項目が大ききリスクを抱えての実施で、成功裡に終了できる事を願い日本経済の復活・再生も実現できると推察する。」「今年は梅雨明けが遅く、猛暑と新型コロナの第2波で来客数が落ちている。特に高齢者は外出を控えていると思われる。」「富士市電子プレミアム商品券が発行されるが、飲食店・サービス業以外の個人店も厳しい状況のなか、他の業種にも優遇措置が欲しかった。吉原商店街では、コロナの影響により「宿場まつり」が中止。毎月1日に開催している「一の市」は屋外での実施のため、開催予定。8月に県下初、全国でも単独商店街では初のau PAY利用者100名に抽選で2000ポイントが当たる企画が行われた。国による需要喚起策「Go To 商店街キャンペーン」を活用したイベント等を

吉原若旦那クラブで検討中。」「商店街の店舗で新型コロナの影響か廃業や撤退が相次ぐ。新型コロナが追い打ちをかけた閉店を危惧する。」との情報。

	好転%	不変%	悪化%	今期D I	来期予測
業 況	8.0	4.0	88.0	▲80.0	上 昇
売上高	4.0	16.0	80.0	▲76.0	上 昇
採 算	8.0	20.0	72.0	▲64.0	上 昇

## 【サービス業】 景気ムード…【厳しい状況】

『飲食』…「新型コロナ禍による飲食業界は非常に厳しい状況下である。歓送迎会に始まり、各企業や団体の総会等イベントは全てキャンセルとなり、廃業を視野に入れていたが、6月にビアガーデンをオープンし予約が800名余り入り、やる気が出できたところ、クラスターにより相次ぐキャンセルが約700名あり、大きな痛手となった。」「昼間の営業では客数が戻りつつあるが、夕方から深夜に掛けての来客数が少なく売上減に直結している。職場での飲み会を禁止している行政や会社があるせいも、金曜日の売上が極端に少ない。軽トラ市・商工フェア等のイベントが軒並み中止のため、今年の売上高を上回るには大変厳しい状況である。」「消費者はコロナ禍で外食を控えているため、売上が低下。更に地区行事や祭りが中止となり、料理の注文も減少。当分、先が見えず先行きは暗い。」との回答。

『クリーニング』…「新型コロナによる売上減少は次第に戻りつつあるが、生活環境が変わりニーズの多様化に対応する商品次第で、業況が変わると思われる。」との声。

『運輸・倉庫』…「新型コロナの影響により業界全体が不調。当面このまま続き、ワクチン・治療薬が出来れば再起すると思われる。」との意見。

『不動産』…「大きく波のある業界ではないため、中長期的に販売減・需要減の状態が継続すると予想。景気回復が取引増に結び付くため、景気の底上げを期待しつつ、しばらくは我慢の時と認識している。唯一、工業系の取引は堅調。むしろ価格を押し上げるほどの需要になることもあるため、工業の町としてのPRも大切にしていきたいと思います。」「不動産の購入の見合わせ・キャンセルが一部発生している。但し、既存仕入等には慎重な対応をしている。コロナ以前に契約・仕入れた物件の工事及び需要に動きも見受けられ、工事着手からの時間も考えると販売のメドが立っているのか見通せない。」「新型コロナの影響で購買意欲が減退しているのかと思っていたが、土地の需要がある。新築着工件数も相変わらず多いと感じる。しかし、分譲地は増え続けているので、売れ続けるとは考えにくい。」「緊急事態宣言等で休業や営業時間の時短により売上が激減し、厳しい結果となっているが、売上は回復傾向にあり採算面も徐々に改善されていく様子である。」「来客数の減少によりテナントの売上にひびき客足が伸びない中、当分この状況は継続すると思われる。」とのコメント。

『求人広告・広告デザイン』…「将来の見通しが見えない中、社会経済の構造が大きく変革していくと思われるため、企業の対応策及び体力がどれだけあるかがカギとなり、新たな業界の取組が課題である。」「新型コロナウイルスの影響により、求人需要の低迷が深刻化している。」と回答。

『専門サービス』…税理士事務所の「顧問先である中小企業の状況が厳しいため、本当に頼りになる税理士が見られているように感じる。今後も低調感は継続し、廃業等も増加すると思われる。」「顧問先の倒産・廃業の影響を受け、過当競争にならざるを得ない。V



字回復になるとは予想されず、今後はいかに中小規模事業所が事業を継続できる支援し  
 がなく、特にコロナ融資で現状維持しているが、今後返済時期を念頭におき、内部留保を  
 いかにか高めていくか思案努力するしかない。」「サービス業(特に飲食業、宿泊業)に於ける  
 景況感は悪化。売上の現況は前年同比 20%と落ち込んでおり、好転材料がない。コロナ  
 の収束時期が見通せないことに起因し、事業継続の資金源が最大問題であり、後継者のい  
 ない個人事業においては廃業を考えている事業者が見受けられる。」とのこと。

『塾・個人教授』…「学習指導要領の改訂により、教育産業全体が新しい考え方にシフト  
 している。コロナ禍においてオンライン授業の充実と見直しが求められる。一方、語学教  
 育業界はグローバル化と国内インバウンド需要が戻れば、活況になると予測。」「景気回  
 復の兆しが見えてくれば、共稼ぎが増え子育てを地域で行う事業が必要不可欠となり、民  
 間教育事業者も多様な学習ニーズに応えられることが求められる。」との意見。

『葬祭業』…「葬祭業界の動向として、一般弔問者・参列者数の減少による販売減が大き  
 く影響している。コロナ時代の葬儀に関しては、ニューノーマル(新しい常識・生活様式)  
 をいち早く打ち出せるかが、企業としての生き残りの鍵だと思われる。」との声。

『旅館・ホテル』…「新型コロナ感染拡大の影響により開業以来最悪の状態。」「団体ス  
 ポーツ合宿がなくなり、売上の目途が立たない。今後、旅館業から寮(寄宿用の共同宿舎)  
 へ業務転換する予定。」「Go To キャンペーンが始まりシルバーウィークには動きが出て来  
 たが、事務処理が複雑でスタッフに不評。高齢者が営む宿泊施設などはキャンペーンにつ  
 いて行けないようだ。」とのコメント。

『旅行業』…「売上は相変わらず低迷状態だが、県内観光支援事業で多少動いた。国の Go To  
 トラベルは、クーポン立替金が増え経営上厳しい状況。見切り発車の Go To は状況が日々  
 変化し、不明部分が多く困惑している。10月1日からは給付額が旅行代金総額の15%の地  
 域共通クーポンや県の宿泊割引制度が再度始まる。」「旅客運送(貸切バス)及び旅行業を  
 メインとしている当社にとって、需要がこれだけ落ち込むと太刀打ちできない。長期に渡  
 り厳しい状況が続き、新型コロナウイルスの終息を心から願う。」との回答。

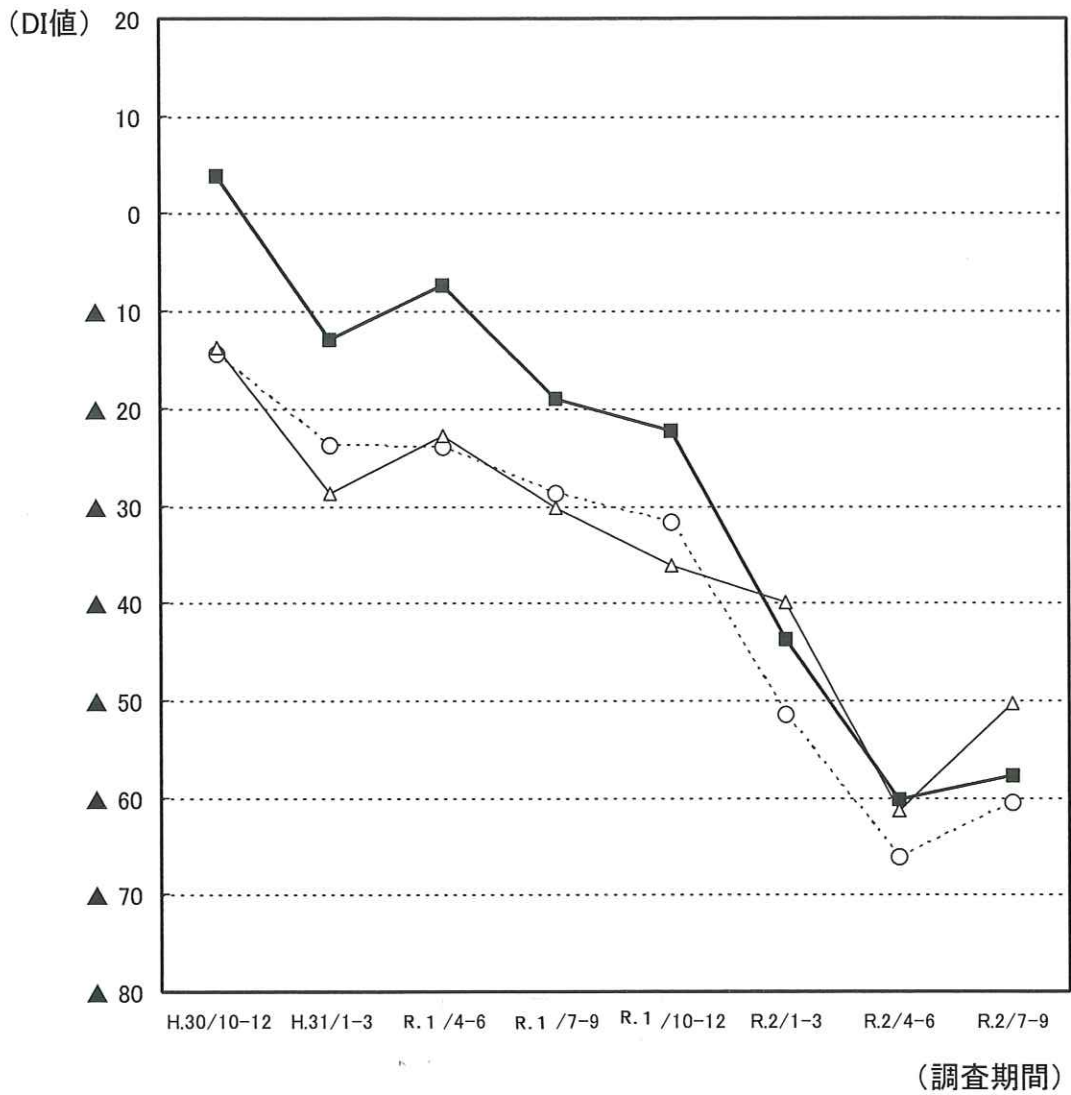
『介護事業』…「人手不足は変わらず、人材獲得の激化により人件費が増大。」との声。

『その他』…「新富士駅での乗降客が少なく、駅自体に活気がない。Go To キャンペーンに  
 よる観光客等の利用者が増える事を期待するが、未だに感染拡大が気になる首都圏から  
 の来客を懸念し、先行きの見えない状況である。」「観光分野が回復傾向にあり、人の動き  
 も活発化している。市内の企業動向も動いているようだ。一方、地域コミュニティの動き  
 は鈍く、感染症が今後どのように変化するか注目したい。」「富士総合運動公園周辺のス  
 ポーツ施設の集約化、新富士 IC 周辺の物流エリア化もまちの活性化に対し期待したい。」  
 「新々富士川橋の工事は順調に進み、今年度より橋梁本体の工事に入る。岩松地区は市道  
 整備が進む中、局地的な豪雨により堀や側溝から水が溢れ、民家の床下などに浸水するケ  
 ースが増えて来た。」との情報。「新型コロナ発生情報は感染者のプライバシーには配慮  
 すべきだが、感染発生一箇所の為に、事実と反するデマ情報により、市全体の同様施設が  
 疑われ、一時期客足が途絶えたことがある。」との意見。

	好転%	不変%	悪化%	今期 D I	来期予測
業 況	0.0	28.1	71.9	▲71.9	上 昇
売上高	6.3	25.0	68.8	▲62.5	上 昇
採 算	3.2	35.5	61.3	▲58.1	上 昇

# 全産業主要調査項目の 前年同期比DI推移状況

■ 売上 ○ 業況 ▲ 採算



# レーダーチャート

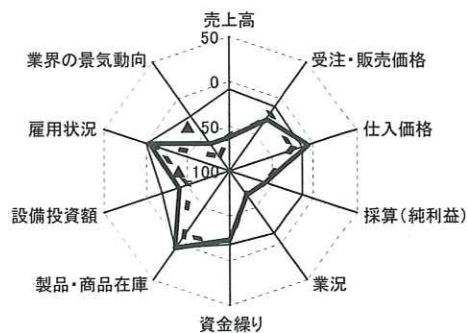
売上高	増加・減少
受注・販売	上昇・下降
仕入価格	下降・上昇
採算	好転・悪化
業況	好転・悪化
資金繰り	好転・悪化
製品・商品在庫	減少・増加
設備投資額	増加・減少
雇用状況	不足・過剰
業界の景気動向	好転・悪化

前年同期比

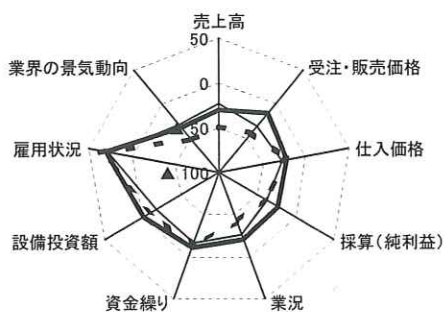
来期予測

前回調査時

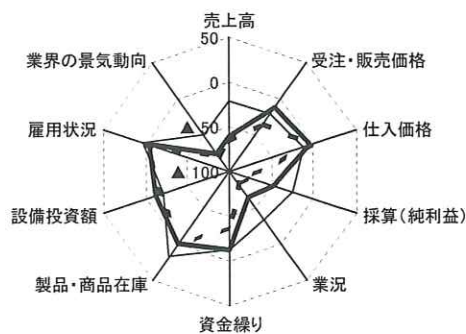
## 【製造業】



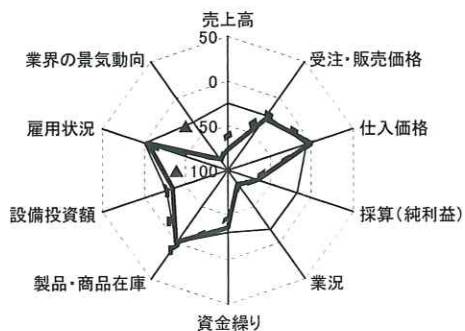
## 【建設業】



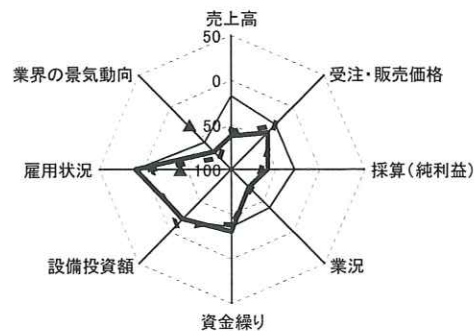
## 【卸売業】



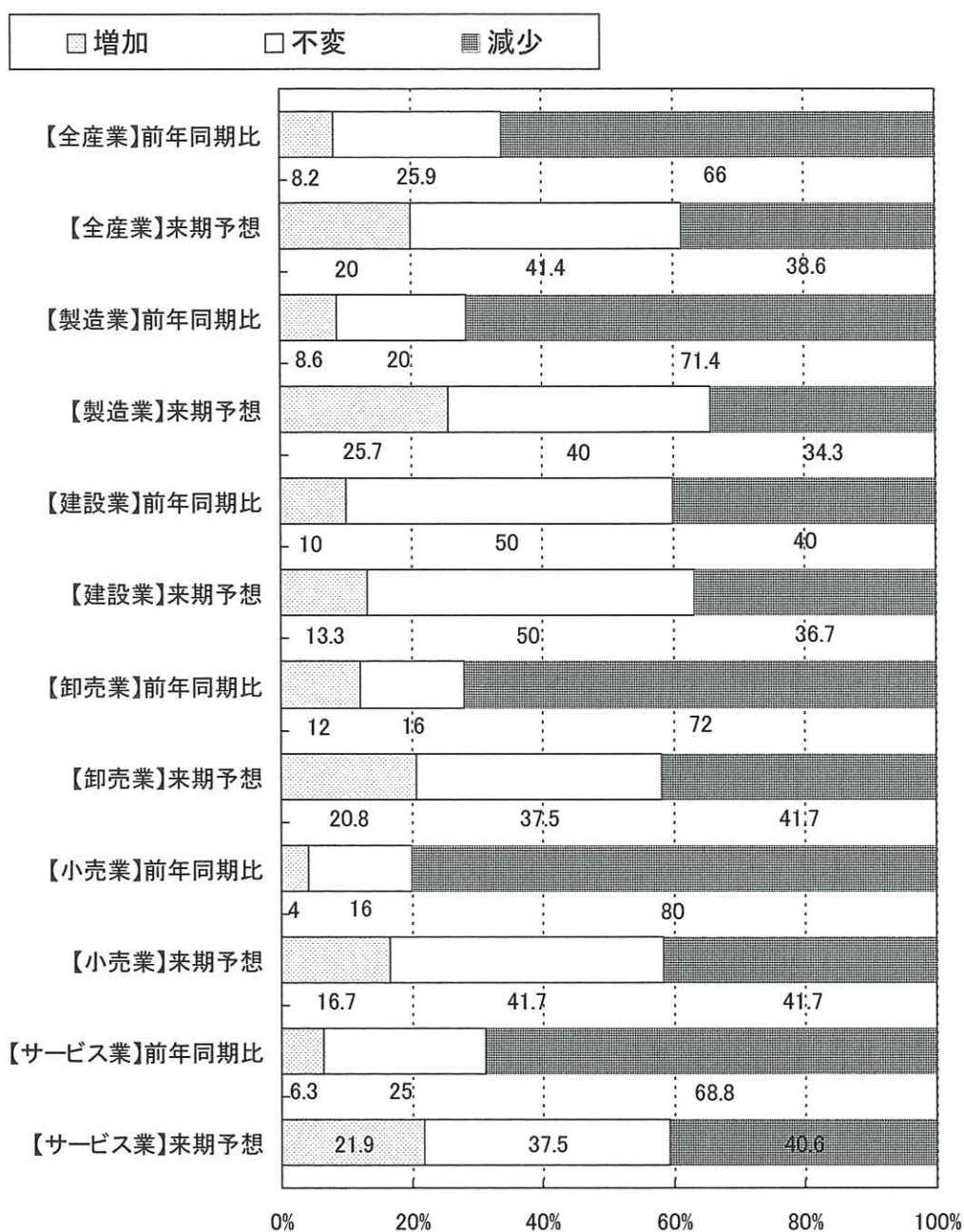
## 【小売業】



## 【サービス業】



## 売上高の前年同期比と来期予測



◇ 経営上の問題点 ◇

産業別	上位回答項目
製造業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 人材不足／設備老朽化</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫</p>
建設業	<p>1 位 人材不足</p> <p>2 位 売上減に伴う利益減</p> <p>3 位 その他の需要の低迷</p> <p>その他 過当競争</p>
卸売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 その他の需要の低迷</p> <p>3 位 設備老朽化</p> <p>その他 売上、利益減による資金圧迫／人材不足</p>
小売業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>3 位 その他の需要の低迷</p> <p>その他 設備老朽化</p>
サービス業	<p>1 位 売上減に伴う利益減</p> <p>2 位 売上、利益減による資金圧迫</p> <p>3 位 その他の需要の低迷</p> <p>その他 設備老朽化</p>

## 最近の静岡県金融経済の動向

公表日（2020年9月24日）

日本銀行静岡支店  
照会先 TEL 054-273-4106

### （概況）

県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引続き厳しい状態にあるが、経済活動が徐々に再開するも、足元では持ち直しの動きがみられる。

最終需要の動向をみると、公共投資は着実に増加している。個人消費や輸出は持ち直している。住宅投資は幾分持ち直している。一方、設備投資は減少している。

こうした下で、企業の生産は、業種・品目毎に区々の動きとなっているが、全体としては持ち直している。

雇用、取得環境をみると、労働需給、雇用者取得ともに悪化している。

この間、消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

### 1. 需要項目別の動向

※前回からの変化 改善 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

（1）個人消費・・・ ↗ 持ち直している。この間、外食など各種サービス消費でも幾分持ち直している。

百貨店・スーパー売上高は、持ち直している。乗用車新車登録台数・販売台数は、持ち直している。コンビニエンスストア売上高は、弱めの動きとなっている。家電販売額持ち直している。ドラッグストア売上高は、大幅に増加している。旅館・ホテルの宿泊数は、幾分持ち直している。

（2）公共投資・・・ → 着実に増加している。  
（公共工事請負金額前年比：20/7月 ▲3.0% ⇒ 8月 +23.9%）

（3）設備投資・・・ → 減少している。  
（短観・設備投資額：19年度計画 +1.4% ⇒ 20年度計画 ▲3.1%）

（4）住宅投資・・・ ↗ 幾分持ち直している。  
（新設住宅着工戸数前年比：20/6月 ▲23.8% ⇒ 7月 +4.4%）

（5）輸 出・・・ ↗ 輸送用機械を中心に持ち直している。  
（輸出額前年比：20/7月 ▲31.5% ⇒ 8月 ▲13.5% <速報値>）  
清水港、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4港合計

## 2. 生産、雇用・所得、物価の動向

- (1) 生産 . . . . . ↗ 業種・品目毎に区々の動きとなっているが、全体としては持ち直している。  
(鉱工業生産指数・生産<季節調整済>前月比：20/5月▲7.5%⇒6月+17.1%<速報値>)

自動車・同部品は、持ち直している。二輪車・同部品も持ち直している。食料品は、減少しているほか、電気機械は、持ち直している。化学は、幾分持ち直している。はん用・生産用・業務用機械は、大幅に減少している。紙・パルプは、減少しており、楽器は、幾分持ち直している。

- (2) 雇用・所得 . . . → 労働需給：悪化している。  
雇用者所得：悪化している。  
(有効求人倍率：20/6月0.96倍⇒7月0.90倍)

- (3) 物 価 . . . . . 消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年を下回っている。  
(指数前年比20/7月0.0%⇒8月▲0.2%)

## 3. 企業倒産、金融面の動向

- (1) 企業倒産 . . . 件数、負債総額ともに総じて落ち着いている。  
(20/7月、負債総額10百万円以上)をみると、倒産件数(14件<前年比：+16.6%>)  
負債総額(19億円<同：+30.7%>)
- (2) 預 金 . . . . 前年を上回っている。(前年比：20/6月末+7.2%⇒7月末+7.5%)
- (3) 貸 出 . . . . 前年を上回っている。(前年比：20/6月末+6.1%⇒7月末+7.0%)
- (4) 貸出約定平均金利 . . . 前月比横ばいとなった。(地元地銀・第二地銀4行ベース、総合・ストックベース)  
(水準：20/6月1.686%⇒7月1.686%)

以 上